



国内外旅行者のためのわかりやすい  
案内サイン標準化指針

東京都版対訳表

平成27年2月





## 【東京都版対訳表の基本的な考え方】

東京都版対訳表（以下「本対訳表」という。）は、区市町村、民間事業者等の皆様が、「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針（歩行者編／鉄道等編／観光施設・宿泊施設・飲食店編）」を踏まえた多言語化の取組を推進するにあたり活用することができる用語等（単語・文章）について、日本語及び英語・中国語（簡体字／繁体字）・韓国語の4言語5種類でまとめるものです。

本対訳表は、以下の観点から作成しています。

- ① 案内サイン等への記載にあたり統一を図ることが求められる用語（地名・施設名等の固有名詞）を掲載
- ② 訪日外国人旅行者にとって必要性が高く、自治体、施設、事業者等が、案内サイン等の多言語化に取り組むにあたり活用できるような汎用性の高い用語等を整理

- 用語等の抽出にあたり、「地名・施設名」については、東京の主要観光スポットが掲載されている「東京ハンディガイド」（東京観光財団）や、多くの外国人旅行者が使用する各種ガイドブック等を参考にし、「共通一般、公共交通機関、観光施設、宿泊施設」については、既往の事例や、関係者へのヒアリング調査結果等をもとに抽出しました。
- 各分野で使用されている汎用性の高い用語等については、「共通一般」や各分野の共通項目等に掲載しているほか、再度掲載したほうが分かりやすい項目には、（再掲）と記載した上で掲載しています。
- 「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」（平成26年3月、国土交通省観光庁）に掲載の用語等については、東京都内における観光の視点から必要性の高いもの等について、繁体字の翻訳を追加した上で掲載しています。
- 飲食店のメニューについての用語は、東京都「多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）」にて対訳の検索ができます（11言語12種類）。また、当ウェブサイトでも多言語メニューの作成も可能です。

## 【東京都版対訳表の活用にあたって】

本対訳表の「地名・施設名」に掲載している用語等の対訳は、各施設管理者等に照会した上で掲載しています。外国人旅行者が迷うことなく安心して東京観光を楽しむ上では、目的地となる地名・施設名の表記が統一されていることが望ましいことから、本対訳表をご活用ください。

「共通一般、公共交通機関、観光施設、宿泊施設」に掲載している用語等の対訳は、自治体、施設、事業者等の皆様が案内サイン等の多言語化に取り組む際の負担軽減や、外国人旅行者にとってよりわかりやすい案内サインの充実を目的に作成したものです。

本対訳表の活用により、多言語化の取組が一層推進されることを期待します。

## 【対訳語作成にあたっての留意点】

本対訳表では、以下の留意点を踏まえ、対訳語を作成しています。

- 英語の表記について  
本対訳表においては、アメリカ式の表記・文体を記した。
- 英語の文体について  
本対訳表に掲載する文章は、以下の3種類を使い分けている。
  1. すべて大文字  
重要な禁止・注意を促す案内サインや、特に大きな案内サイン、場合によっては見出しにも使われるスタイルである。文中では使用しない。  
(例)・EMERGENCY  
      ・STAY OFF THE TRACKS
  2. 各単語の頭文字のみ大文字  
主に案内サインに使われるスタイルである。ただし、文中で使用する場合は、固有名詞の頭文字のみ大文字とする。前に「Sorry」を付けることで、会話や音声案内等にも使用できる場合もある。  
(例)・No Vacancy  
      ・Sorry. No vacancy. (会話や音声等で使用する場合)
  3. 最初の単語の頭文字（と固有名詞）のみ大文字  
文章で表す際の基本の文体であるが、案内サインにも使用されるスタイルである。上記2. よりもフレンドリーな印象を与えることも少なくない。案内サインで使用する場合、一つの文章で完結するのであれば、ピリオドは不要であるが、二つ以上の文章の場合は、すべてピリオドが必要。  
会話や音声案内等にも使用できることが多い。  
(例)・Please take your ticket and change
- その他英語の留意事項  
強調する表記は、“ ”（クォーテーションマーク）ではなく、太文字で表す。  
本対訳表においては、主に単数形で表記しているが、実際の使用にあたっては、複数形が適切な場合もある等、文脈に応じて適切な対応が必要である。
- 中国語（簡体字／繁体字）・韓国語の留意事項  
案内サインで使用する場合、一つの文章で完結するのであれば句点（中国語（簡体字／繁体字）は「。」、韓国語は「.」）は不要であるが、二つ以上の文章の場合は、すべて句点が必要。
- 韓国語の留意事項  
対訳の中には、単語を入れ替えることで様々な場面に活用することができるものもあるが、韓国語の助詞は、直前の単語によって変化する場合があるので、翻訳の際には注意が必要。

## 【索引】

分類	区分	内容	ページ 番号
1. 地名・施設名	1-1. 観光スポット (エリア別)	新宿・大久保／渋谷・原宿・表参道・青山／浅草／墨田・両国／上野周辺／秋葉原・御茶ノ水／銀座・築地／丸の内・皇居／日本橋／六本木・赤坂／池袋／台場・青海・有明／汐留・芝・竹芝／品川／大田／柴又／多摩東部／多摩西部	4
	1-2. 観光スポット (施設区分別)	公園・庭園／動物園・植物園／アミューズメントパーク／美術館・博物館	11
2. 共通一般	2-1. 地勢・行政区域等	地勢等／行政区域等	15
	2-2. 道路・交通施設等	道路・交通施設／移動円滑化設備	15
	2-3. 観光・ショッピング施設等	観光名所等／大規模集客施設／ショッピング施設等／観光案内等	16
	2-4. 文化・生活施設	文化施設等／スポーツ施設／宿泊・集会施設／行政施設／医療福祉施設／産業施設／教育研究施設／その他生活施設等	18
	2-5. 施設・設備等	施設内の設備等／利用案内／トイレ／エスカレーター／コインロッカー／自動販売機／駐車関連	20
	2-6. 支払	支払方法・料金等／クレジットカード／券売機	25
	2-7. ごみの分別	ごみの分別	27
	2-8. 日本の文化	日本の文化	27
	2-9. 注意・禁止事項	注意事項／禁止事項	28
	2-10. 非常時・トラブル	避難誘導／非常時の対応／身体的なトラブル	29
	2-11. 基本単語	日時／曜日／方向等／大きさ／文法	30
3. 公共交通機関	3-1. 共通事項	のりば・きっぷうりば・行先案内／運賃・時刻表・路線図／車内の設備／マナー・注意事項	32
	3-2. 鉄道	駅構内／改札・出口等／券売機・精算機／運賃・路線図・時刻表／発車標・ホーム／車両内／マナー・注意事項／緊急時／運行・遅延情報（異常時・非常時）	34
	3-3. バス	車内設備／バス停／マナー・注意事項	50
	3-4. タクシー	のりば案内／運賃／車両種別／車両状況／注意喚起等	53
	3-5. 船(水上バス)	のりば／運賃・運航ルート・時刻表／運航情報／船内設備／注意・禁止事項	55
4. 観光施設	4-1. 美術館・博物館・観光地等	入場案内／施設案内／文化財等／展示内容の解説／禁止事項・注意事項	58
	4-2. 自然公園	施設案内／注意事項	65
5. 宿泊施設	5-1. 施設の基本情報	施設種別／客室種別／出入口・エントランス／係員／サービス共通事項／フロントデスク／予約／支払／荷物・クローク等／付属設備／自動販売機／注意事項	67
	5-2. サービスの内容	ルームサービス・室内清掃／ランドリー・クリーニングサービス／モーニングコール／食事／冷蔵庫／マッサージ／インターネットサービス／PC貸出サービス／コピー・FAX・プリントアウト／レンタル可能なもの・アメニティ	74
	5-3. 室内設備の使い方	ルームキーの使い方／テレビの使い方／エアコンの操作方法／室内電話のかけ方／照明の付け方／シャワー・風呂の使い方／その他室内設備／客室利用時の注意事項	80
	5-4. 日本独特のもの の使い方	浴衣／布団の使い方／お風呂の入り方／お茶の入れ方	85
	5-5. 周辺観光情報	近隣施設への案内／主要観光施設へのアクセス	88
	5-6. 非常時	非常時	90